



そうだ、サロンに行こう！



ふれあいサロンの楽しみ方

「ふれあい
サロン」って？

地域での65歳以上の方の“集いの場”です。介護予防の一環として、各地区公民館など市内12カ所で実施されています。参加者は、「友達づくり」や「おしゃべり」、「サロンのお手伝い」など、それぞれに楽しんでいます。



こんな人におすすめ /
多くの人とつながりをつくりたい
役割や生きがいをつくりたい
気軽に集まり、おしゃべりをしたい

1

受付



コーディネーターが参加者に声をかけ、笑顔で迎えます。その日の体調などを確認します。

2

メニューを楽しむ



音楽・手芸・体操など、その日のメニューを楽しみます。「みんなで身体を動かすと楽しい」と話す参加者も。

3

おしゃべりを楽しむ



楽しい時間を一緒に過ごすことで、自然と会話が弾み、笑顔になります。

PickUP!

サロン活動者の情報交換の場
ふれあいサロン
ネットワーク会議

社協は、市内12カ所の「ふれあいサロン」の関係者が情報交換できるように、ネットワーク会議を開催しています。会議では、介護予防などサロンの目的を再確認するとともに、これからのサロンのあり方についてなど意見交換をしています。また、関係者にメニューの参考となるよう、モルックやカフェなどを体験していただき、サロン活動の更なる充実を目指しています。



▲サロン運営について情報共有



▲サロンカフェを体験

サロンQ & A

Question 1 事前の申込みは必要ですか？

事前の予約・申込みは必要ありません。気軽に実施場所（2P参照）までお越しください。初めて参加される場合は、受付で利用登録書（年度更新）をご記入いただきます。

Question 2 どんなメニューがありますか？

軽スポーツや、手芸・工作、映画鑑賞など様々なメニューがあります。各サロンによって内容が異なりますので、詳しくはお問合せください。

問 地域福祉係 ☎29-3880

人も地域も元気なまち “かしはら”を目指して

ふれあいサロンでは、様々な人が気軽に集まり、おしゃべりや趣味を通して交流することで、住民同士のつながりが生まれています。そして、サロンで培われたそのつながりは、困ったときに自然に助け合う関係となり、地域の絆を育んでいます。社協は、人も地域も元気なまち“かしはら”を目指し、地域の皆さんが気軽にサロンに参加できるよう、情報提供やきっかけづくりを支援していきます。



▲絵具で絵手紙づくり
(真菅北)



▶クリスマス会で
音楽鑑賞(畝傍北)

ふれあいサロンの実施状況

サロン名	実施場所	実施日・時間
ますげいなほ会	真菅地区公民館	第2・4土曜日 9時30分～11時30分
今井校区 ふれあいサロン	今井地区公民館	第2・4土曜日 9時30分～11時30分
新沢地区 ふれあいサロン	新沢地区公民館	第2・4火曜日 13時～15時
香久山地区 ふれあいサロン	香久山地区公民館	第1・3・4土曜日 13時～15時
晩成 ふれあいサロン	八木地区公民館	木曜日(第5木曜日は休み) 13時30分～15時30分
畝傍南 ふれあいサロン	畝傍地区公民館	第2・4水曜日 13時30分～16時
畝傍北 ふれあいサロン	大久保ふれあい センター	第1・3木曜日 13時30分～16時
サロン しらかし広場	白檀地区公民館	火曜日(第5火曜日は休み) 13時～15時
ふれあいサロン 耳成	各町公民館・ 集会所など	月1回 開催ごとに変更
耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	耳成南小学校 ふれあい教室	第2・4土曜日 9時30分～11時30分
真菅北 ひまわりサロン	中曽司町本町会館・ 小槻町公民館など	第2・4火曜日 13時30分～15時30分
鴨公まほろば ふれあいサロン	鴨公地区公民館	第2・4金曜日 10時～12時

※参加する場合は利用料(100円～200円)が必要となります。
また、別途教材費が必要なメニューもあります。

赤い羽根共同募金

昨年10月1日から赤い羽根共同募金運動(一般共同募金と歳末たすけあい募金)が全国的に展開され、橿原市共同募金委員会におきましても、この運動を積極的に進めました。市民の皆様をはじめ、自治会や民生委員・児童委員等の深いご理解と温かいご協力に支えられ、実施できましたことに心から感謝申し上げます。

お寄せいただいた募金は、橿原市内の社会福祉事業や地域福祉活動等の資金として、有効に活用させていただきます。なお、最終の実績は、運動期間が終了となる3月31日までの募金額を含めて、次号(第77号)へ掲載いたします。

(令和7年1月31日現在)

募金種別	募金額(円)
一般共同募金(A)	8,577,795
戸別募金	4,001,246
法人募金	2,663,922
街頭募金	560,376
その他募金	1,352,251
歳末たすけあい募金(B)	3,812,777
戸別募金	3,797,777
その他募金	15,000
合計(A)+(B)	12,390,572

ありがとう
ございました



視覚障がいがあっても

安心していきいきと暮らせるように

外出時、私たちは目から多くの情

報を得て、危険なことも無意識のうちに察知しています。しかし、視覚障がいの方は、一人での外出に多くの危険な場所や状況があるため、不安を感じたり不便な思いをされます。そうした問題を解決するために平成23年に施行されたのが、視覚障がいの方の外出にヘルパーが同行し、支援を行う「同行援護制度」です。

社協では、平成23年から同行援護サービスを開始し、利用者が8名（令和6年12月現在）おられます。今回、買い物や通院のために週2回サービスを利用している柴原信子さん（76歳・仮名）にお話を伺いました。

―普段はどのように生活されていますか？

音楽や歴史の話が好きで、毎朝5時から一日中ラジオを流しています。演歌や日本の歴史番組を聴いて、友人と電話で感想を言い合ったりしています。また、旅番組を聴くと実際に旅行に行った気持ちになります。

―同行援護を利用して良かったことはありますか？

普段、気軽に外出することができています。また、大和郡山市で開催された盆梅展に行くなど遠方にも出かけることができ、充実した生活

を過ごせていることです。特に歴史が好きなので、今井町を散策したり、正暦寺（奈良市）や石光寺（葛城市）へお参りに行ったことが心に残っています。

―今後チャレンジしてみたいことはありますか？

人とのコミュニケーションをとることが大事だと考えているので、同行援護を利用しながら外出する機会を増やしていきたいです。外出すると心が晴れて、元氣になります。何事にも挑戦する気持ちを持ち、今は怖くてできない料理など自分のできることを増やしていきたいです。



好奇心が旺盛で、いきいきとお話をされる柴原さん。取材日は雪が降る寒い日でしたが、この日も同行援護を利用し、ヘルパーと買い物に出かけられていました。

社協は、障がいがあっても住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていけるように、引き続き同行援護などの障害福祉サービスを提供し、利用者の在宅生活を支援していきます。



▲ヘルパーと会話を楽しむ柴原さん



▲天候が悪い日はカッパを着て外出

▶ヘルパーから商品の説明を受けて買い物



▲ラジオを聴いてリフレッシュ

事業所の概要

事業所名	社会福祉法人橿原市社会福祉協議会 指定居宅介護事業所
サービス提供日	通年（12月29日～1月3日を除く）
サービス提供時間	午前8時～午後6時
電話番号	29-3916
FAX番号	29-4400



ありがとうございました!!

善意の窓 (11月16日～2月15日)

寄付者(団体)名	寄付額	寄付日
「憩いの川」づくりプログラム 事業代金 平和橋会 醍醐材木町	2,000円	11月29日、1月24日
資源リサイクル「警察と地域の 連携について考える会」 醍醐材木町	1,000円	11月29日、1月24日
畝傍ゲートボール同好会	15,000円	12月2日、1月7日、2月3日
資源リサイクル神武会	9,000円	12月2日、1月7日、2月3日
大和橿原モラロジー事務所	30,000円	12月2日、1月6日、2月4日
曾我町光専寺喜捨箱	19,830円	12月3日
匿名	23,264円	12月13日
橿原市仏教会	150,000円	12月18日
橿原商工会議所 女性会	30,000円	12月24日
特定非営利活動法人 飛鳥 ステップあすか	10,000円	12月27日

※寄付額については当該期間の寄付額を合算した金額です。

善意銀行に多くのご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。
寄付金は、地域福祉活動に有効活用させていただきます。

ふれあい電話訪問サービスの ボランティア募集

市内在住の高齢者世帯等に対し、ふれあい(話し相手や見守り等)のため、週1回、電話訪問をするボランティアを募集しています。関心のある方はお問合せください。

実施日 火曜日(午前10時～午後3時)
金曜日(午前10時～正午)
訪問日 週1回(10分程度)
申込み 地域福祉係



加入受付中!

ボランティア保険

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償するボランティア活動保険と、地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における「主催者や参加者のケガ」や「主催者の賠償責任」を補償するボランティア行事用保険があります。

加入手続き

市民活動交流広場
住所: 内膳町1-6-8
(橿原市観光交流センター5階)
TEL: 47-2380
FAX: 47-2381



地域福祉推進委員会スキルアップ講座

～今こそ、情報発信力を高めよう!～

11月30日(土)、各小学校区地域福祉推進委員会から28名の参加のもと、スキルアップ講座を開催しました。

講座では、グラフィックデザイナーの杉井江里亜^{すぎい えりあ}氏を講師に迎え、「集まる楽しいチラシの作り方」をテーマにご講演いただきました。参加者には、チラシのレイアウトのコツやQRコード・Instagramの活用など、チラシづくりの体験を交えながら、効果的な情報発信についての理解を深めていただきました。参加者からは、「チラシづくりのポイントがわかった」「実践に活かしていきたい」などの感想が聞かれました。



社協会員の募集

地域福祉活動を積極的に展開するため、社協会員を募集し、会員の皆様からいただいた会費を貴重な自主財源の1つとして、社協の運営や地域に密着した事業に活用させていただきます。

社協の活動にご理解いただき、ひとりでも多くの皆様のご協力をお願いします。

〈会員の区分と会費〉(令和7年1月31日現在)

区 分	会費(年額)	令和6年度実績
個人会員	300円	1,143名
団体会員	3,000円	56団体
賛助会員	1口1,000円	22件



↑令和6年度団体
会員はこちら

ヘルパー(非常勤職員)の募集

職 種 ヘルパー(非常勤職員)
雇用期間 令和8年3月31日まで
※更新制度あり(原則更新)
勤務日 週1日以上
※勤務日数・時間は調整
賃 金 時給1,200円～1,800円
手 当 活動手当、研修手当、地域手当、処遇改善加算手当等
待 遇 有給休暇、被服貸与等



※募集案内及び応募に必要な書類は、ホームページに掲載しています。

次号(第77号)は7月発行予定です。

この広報紙は共同募金の地域助成金等により作成しています。

